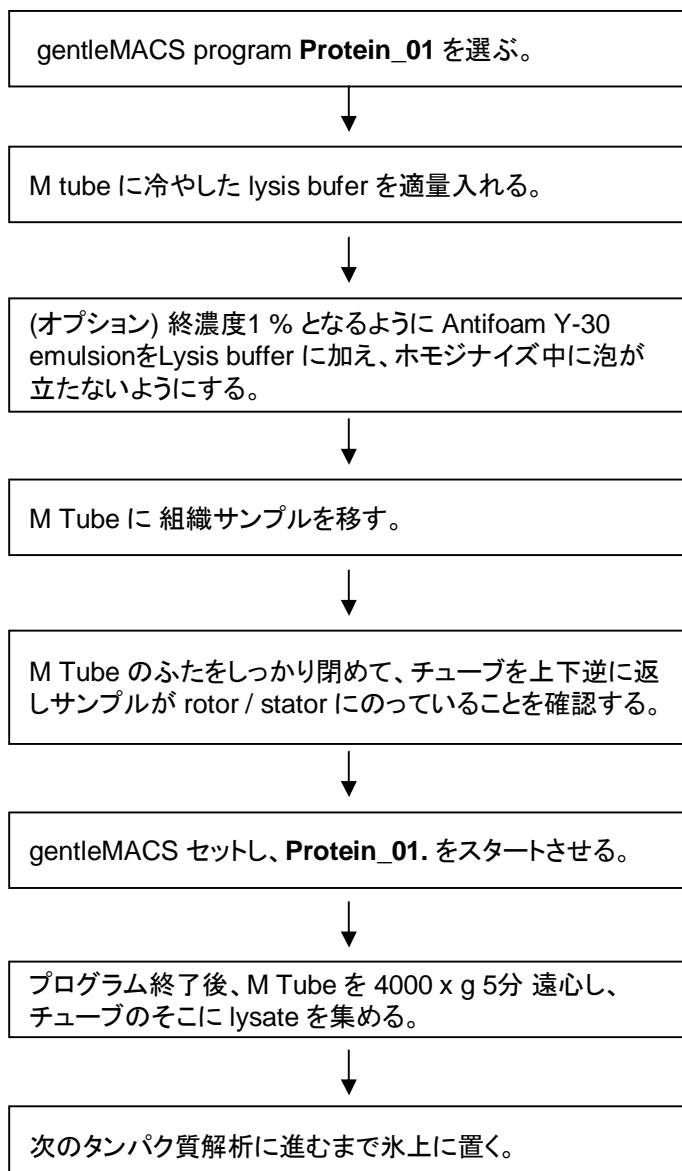


A. 準備

- gentleMACS Dissociator
- gentleMACS M Tube ストレイナーなし: 25本入り 130-093-236、50本入り 130-093-458
- 目的タンパク質に適した lysis buffer
- オプション: Antifoam Y-30 emulsion (Sigma-Aldrich, A6457)

B. タンパク質 抽出のための組織破碎

- このプロトコルにより、肝臓、腎臓、脾臓、心臓、肺、脳、皮膚、筋肉、腸などのマウス組織からタンパク質を抽出できることが確認されています。(凍結組織も可)
- **Note:** M Tube が破損する恐れがあるため、骨など硬いサンプルからの抽出はできません。
- サンプル量は 300 μ L ~10 mL の間になるようにしてください。lysis buffer 1 mL に対し組織は最大10 mg までをお勧めいたします。
- lysis buffer は氷上であらかじめ冷やしておいてください。
- gentleMACS Dissociator の使用方法はユーザーマニュアルをご参照ください。



* チューブの壁にサンプルがつかないように直接 lysis buffer に入れてください。